

## IV 新たな運営基本方針（新方針）

当館は、県民の文化創造の拠点、県民の「文化の殿堂」として、県民の知識と教養の向上に大きく貢献してきました。この役割は開館当時から変わることなく、今後も充実・発展に努める必要のある重要なものです。

これまでに述べてきた社会環境の変化や当館を取り巻く現状と課題、利用者の意識等を踏まえて、県立の図書館としての今後のあり方を考えると、社会や時代の変化に適切に対応し、生涯学習の視点に立って県民のニーズに的確に応えていくことが求められています。県民の生活や仕事の課題解決、学びの深化等に役立つ資料や情報を積極的に提供するとともに、市町村立図書館等との連携を通じて地域における読書環境の向上を支援することで、県民にとって役に立つ、利用価値の高い図書館となる必要があります。

また、郷土熊本に関する貴重かつ多様な資料を守り、後世に引き継ぐとともに、熊本の豊かな文化を、県民をはじめ多くの方々に発信・提供するよう努めることで、郷土熊本への理解や愛着を深め、熊本の文化を一層発展させていくことも必要です。

さらに、熊本の次世代を担う人材の育成や県内の図書館活動の活性化につながる取組を充実させ、ますます豊かで元気な熊本の人づくり・地域づくりに貢献するよう努める必要があります。

当館に求められるこのように多様な役割を果たしていくために、これからは、次の基本理念と運営方針のもとに事業や取組を展開していきます。

### 1 基本理念

#### **熊本を支え、発信し、創造する県立図書館 ～ 知恵と力を生み出す「知の拠点」へ ～**

当館は、熊本における唯一の県立図書館として、また、「図書館の図書館」として、県民の様々な疑問や知的ニーズに対し、市町村立図書館等と連携しながら、適切な資料や情報を提供していくことを大きな使命としています。また、先人たちが築き上げてきた熊本の文化や伝統を将来にわたる県民共有の宝として継承し、県内外に情報発信していくとともに、これからの熊本を支える新たな文化や伝統へと発展させていくことも、当館の重要な役割です。

これからの熊本県立図書館は、過去と現在と未来をつなぎ新たな知恵や力を生み出す熊本の「知の拠点」となることをめざします。

## 2 運営方針

上記の基本理念に迫るために、次の4つを柱として、当館の運営を進めていきます。

### 1 熊本の暮らしを支える

熊本における「図書館の図書館」として、市町村立図書館等との連携のもと、全県域を対象にした、県民の暮らしを豊かにするための読書の推進等につながるサービスを提供します。

また、子育てや医療、福祉等の生活上の課題や、熊本らしさや時機を踏まえた各種産業における起業及び事業の改革・改善等の仕事上の課題など、県民の生活や仕事の上での課題の解決を支援するためのサービスの充実を図り、情報の面から県民の暮らしを支えます。

### 2 熊本の学びを支える

熊本で暮らす人々や熊本で働く人々が生活を豊かにし、仕事を円滑に進めるために必要とする知的ニーズに的確に対応するなど、熊本における人々の学びを支援するためのサービスの充実を図ります。

また、熊本県民が熊本をより深く理解するために行う活動に加えて、県外や海外の人々の、熊本について知りたい・学びたいというニーズに対応するなど、熊本についての人々の学びを支援するためのサービスの充実を図ります。

### 3 熊本の文化を発信する

当館が所蔵する古文書等の歴史資料に加え、くまもと文学・歴史館（旧熊本近代文学館）がこれまでに収集・保存してきた熊本ゆかりの近代文学資料など、熊本の文学と歴史に関わる貴重な資料を確実に未来に継承するための取組を進めます。

また、当館が所蔵する熊本ゆかりの人々による文学作品の数々や約6万点に及ぶ古文書を中心とした数多くの歴史資料など、先人たちが遺した優れた文化を、郷土熊本の魅力として広く県内外に発信する取組の充実を図ります。

### 4 熊本の未来を創造する

子どもたちの感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造する力を培うための読書活動を推進するとともに、「肥後っ子いきいき読書プラン（熊本県子どもの読書活動推進計画）」に沿った取組の確実な実施を図り、人生をよりよく生きる力と熊本の将来を担う力を身につけた子どもの育成につながる取組の充実を図ります。

また、当館を含めた公共図書館、公民館図書室及び学校図書館や大学図書館等の関係職員の資質や技能の向上につながる取組の推進に加え、図書館界の動向や最新の読書活動等を踏まえた、図書館の未来の姿を提案するための取組を推進します。

### 3 新方針の具現化に向けて ～今後の取組の方向性～

#### 1 熊本の暮らしを支える

##### 1 全県域を対象としたサービスの提供

###### (1) 市町村立図書館等との連携

当館が市町村立図書館等のネットワークの中心となり、各図書館等の活動をタイムリーに紹介するなど、情報の共有と発信の活性化を図ります。

また、当館と市町村立図書館等との連携をさらに進め、相互貸借制度等の活用により、県内図書館間の蔵書の相互利用の活性化を図るとともに、県内のどこに住んでいても読みたい本や必要な本を自由に利用できるような仕組みづくりに努めます。

さらに、限られた予算の中で利用者の幅広いニーズにできる限り応えるために、当館と市町村立図書館等の役割分担をさらに明確にし、例えばベストセラー小説や実用書など、一般的に人気の高い資料の収集は市町村立図書館等に委ね、調査・研究用の資料を充実・強化していくなど、県立図書館らしい蔵書の構築に努めます。

そこで今後は、個人貸出冊数の増加を目標とはせず、当館が提供する資料やサービスの利用頻度や満足度等の向上をめざした取組を充実させ、資料の効果的な活用の促進を図っていきます。

###### (2) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等の中には、蔵書の充実に課題がある施設があることや、そもそも図書館が置かれていない地域があるという現状があります。当館は、そのような現状を踏まえつつ、蔵書の不足する図書館等に対して当館の蔵書を貸し出す一括貸出や配本協力等の事業を推進し、地域における住民へのサービスの充実を支援します。

また、当館職員の専門性や蓄積されたノウハウを活用し、市町村立図書館等からの運営相談や技術相談等に積極的に応じるとともに、市町村立図書館等におけるレファレンスへの対応の高度化や充実を支援します。

## **2 生活や仕事に役立つサービスの充実**

### **(1) 県民や地域の課題解決への支援**

県民や地域が抱える課題の解決に、資料の提供を通してお手伝いすることは、現代の図書館に課せられた新しい使命の一つです。当館は、県民や地域が直面する課題解決の一助となるよう、関係機関等との連携のもと、資料の整備と活用をはじめとする各種サービスを提供していきます。

また、障がいのある人など、様々な理由で当館の利用に困難を抱える県民に対して、当館の資料やサービスを効率的に提供するための方法の工夫・改善を進めます。

さらに、これまで当館が行ったレファレンスの記録の蓄積と公開を進めるなど、多様な媒体を活用しながら積極的かつ効果的に県民の課題解決のヒントを提供していきます。

### **(2) 関係機関等との連携**

県民や地域のニーズの把握や掘り起しに努めるとともに、それらに対応するための、関係機関や専門機関等との連携による取組を推進します。

また、館内のギャラリーや会議室等を効果的に活用し、関係機関や専門機関が持つ県民の生活や仕事に役立つ情報を積極的に発信します。

#### **重点取組事項**

##### **① 全県域への資料の提供**

- ・市町村立図書館等との連携による資料の提供・返却サービスを充実させます。
- ・次代の図書館システムの更新に向けた準備を進めます。

##### **② 市町村立図書館等への支援**

- ・市町村立図書館等との情報の共有を促進し、連携を強化します。
- ・子ども文庫等の団体貸出事業の利用を促進します。

##### **③ 資料や各種サービス等の周知と利用の拡大**

- ・障がいのある人など、誰もが当館の資料やサービスを活用できるよう、提供方法の工夫・改善を進めます。
- ・幅広い分野の調査・研究に適した資料の収集・提供を推進します。
- ・当館の資料や各種サービス等の周知と利用の拡大を図ります。

## **2 熊本の学びを支える**

### **1 熊本で学ぶ人に役立つサービスの充実**

#### **(1) 「調べる図書館」としての機能の強化**

県民や利用者の様々な調べる活動に対応できるよう、調査・研究のための資料の充実を図り、当館の「調べる図書館」としての機能を強化します。

また、レファレンスや各種データベース等のコンテンツの存在や利便性について積極的に情報発信し、活用を促進します。

また、県内の図書館及び国立国会図書館や全国の図書館が持つ資料へのアクセス機能の活用を促進します。

さらに、レファレンスブックの充実や職員のレファレンスへの対応能力の向上を図り、県民が求める資料や情報を適切に提供するよう努めます。

#### **(2) 学びの場や学びを共有する機会の提供**

各閲覧室の閲覧スペースはもとより、会議室や学習スペース等を効果的に活用し、県民に学びの場を提供します。

また、当館を利用する団体等が、それぞれの学びや研究を発表し共有したりする機会の創出に努めます。

さらに、国際化の進展に応じて来館数が増えてきた外国籍の人など、日本語でのコミュニケーションに難しさを感じる人々にとっても利用しやすい図書館となるよう、数か国語の利用案内の作成等を進めます。

### **2 熊本を学ぶ人に役立つサービスの充実**

#### **(1) 熊本に関する資料や情報の収集**

熊本の過去と現在が記された資料を蓄積し、熊本について学ぼうとする人にとって必要な情報を網羅的に提供できるよう、熊本の生活や文化に関係する出版物や資料、熊本にゆかりのある人物の出版物等、熊本に関する資料や情報を積極的に収集します。

また、県民はもとより、全国や海外の人が熊本について調べるための情報拠点として、国内外から注目されるような熊本に関する事柄についての資料や情報も積極的に収集します。

## (2) 熊本に関する資料や情報の提供と発信

当館が収集し保存する熊本に関する資料や情報について、閲覧での提供はもとより、複写サービスやレファレンスで効果的に活用するなど、利用の促進を図ります。

また、郷土関係出版物展等の開催により広く周知を図るとともに、インターネットをはじめとする各種メディアの効果的な活用やホームページの多言語化等を図りながら、熊本に関する資料や情報を積極的に提供・発信します。

### 重点取組事項

#### ① 調べる活動の支援

- ・ 当館の資料や調べる機能のより効率的な活用を促進します。
- ・ 利用者の調べる活動を支援する機能の充実・強化を図ります。

#### ② レファレンスの充実

- ・ レファレンスの周知と利用の拡大を図ります。
- ・ レファレンスブックの充実と職員の専門知識・能力の向上を図ります。

#### ③ インターネット等を活用した情報の提供

- ・ 当館ホームページにおける情報検索機能の周知と利用の拡大を図ります。
- ・ 利用者が求める資料や情報を効率的に入手するための支援を強化します。

#### ④ 熊本に関する資料や情報の充実

- ・ 熊本に関する資料や情報の収集・提供の充実を図ります。

### **3 熊本の文化を発信する**

#### **1 熊本の文化を守る取組の充実**

##### **(1) 館内資料の保存**

当館が所蔵する古文書や絵図など、熊本の生活や文化を伝える貴重な資料を確実に保存し長く後世に継承するとともに、利用者の求めに応じて提供することができるよう、資料の保存管理やデジタル化を推進します。

また、保存すべき資料を確実に保存するための空間の確保や保存技術の向上・継承に努め、保存機能の強化を図ります。

##### **(2) 館外資料の保存**

県内各地に保存されている古文書や絵図など、地域の文化を理解するための貴重な地域資料について、所在情報の把握と集約に努めます。

また、地域資料等の適切な保存管理について市町村立図書館等に対する支援の充実に努めます。

さらに、地域資料はそれぞれの地域で保管するという原則を踏まえつつ、地域での保管が難しい資料については、寄贈・寄託制度を活用しながら、その保存管理に努めます。

#### **2 熊本の文化を発信する取組の充実**

##### **(1) くまもと文学・歴史館との連携による情報の発信**

博物館的な機能を持った施設を併設する数少ない図書館として、県民はもとより、全国や海外の人々により広く活用されるよう、それぞれの特徴や図書館と文学・歴史館の複合施設としての魅力等について積極的に発信します。

また、文学・歴史館が行う企画展等に関連し、各閲覧室で関係する資料を紹介するなど、文学・歴史館との空間的連続性を活かし、「展示を見て、さらに図書館で学ぶ」という新たな「知の循環」を進める取組を推進します。

## (2) 多様な方法を駆使した情報の発信

当館が所蔵する古文書や絵図など、かつての熊本の姿を知り、熊本のこれからを考えるために欠かせない資料や情報について、館内における展示や広報に加えて、様々な方法や媒体を通じて広く県民や社会に積極的に発信します。

また、デジタル化した貴重資料のホームページ上での公開なども進め、当館が所蔵する貴重資料の周知と利用の拡大を図ります。

### 重点取組事項

#### ① 貴重資料等の修復・修理の推進

- ・ 早急な対応が必要な貴重資料等の専門機関等による修復・修理を進めます。
- ・ 貴重資料の保存管理に関する知識・技能の向上と人材の育成・確保を図ります。
- ・ 県内にある貴重資料等を守る取組の支援を強化します。

#### ② 貴重資料等のデジタル化と提供

- ・ 文化的に価値の高い貴重資料等のデジタル化を推進します。
- ・ 資料のデジタル化や古文書の整理等を行うための人材の育成・確保に努めます。

#### ③ くまもと文学・歴史館との連携

- ・ 当館と文学・歴史館の特徴を生かした連携を強化します。



## **4 熊本の未来を創造する**

### **1 熊本の次世代を担う子どもの育成に向けた取組の充実**

#### **(1) 子ども図書室における取組**

絵本や児童書などの子ども向け資料に加え、児童書研究書などの子どもの読書活動の推進に役立つ資料の充実を図ります。

また、幼少時から読書の習慣を身につけられるよう、子どもの発達段階に合わせた多様なおはなし会を実施したり、図書館や読書に対する理解や興味関心を高めるためのイベントを開催するなど、子どもの読書の推進につながる取組の充実を図ります。

さらに、図書館を知のツールとして活用し、それぞれの人生を豊かなものにすることができるよう、調べるスキルを身につけるための、調べ学習の推進に役立つ資料や機能の充実を図ります。

#### **(2) 学校や家庭、地域との連携**

学校や家庭、地域における子どもの読書が一層活発になるよう、子ども文庫等の団体貸出事業の周知と利用の拡大を図ります。

また、学校図書館の関係者や市町村立図書館等の職員及び子どもの読書活動の推進に携わる各種ボランティア団体等への支援や研修機会等の提供を通して、県内各地域における子どもの読書活動を支援します。

### **2 図書館の充実と発展に寄与するための取組の充実**

#### **(1) 図書館を支える人材の育成**

県内唯一の県立図書館として県内の図書館をリードしていくために、全国規模の研修会への参加や専門機関等による研修機会の確保等に努め、当館職員の図書館サービスや資料の保存等に関する知識や技能の向上を図るとともに、それらを通して得た知識やノウハウを市町村立図書館等や学校等の関係職員に積極的に情報提供し、県内の図書館活動の充実・向上を図ります。

また、市町村立図書館等や学校等の関係者の専門性やサービスの向上につながる研修機会の充実を図り、県内図書館全体の図書館サービスの向上を支援します。

## (2) 図書館振興に関する情報の発信

県内の図書館活動を推進するために、全国の図書館の動向や最新の情報等の収集を行い、市町村立図書館等や学校等に発信します。

また、県内図書館のモデル事例として、県内外の先進的な取組を当館が実験的に実施し、それにより得られた成果や結果を県内図書館に積極的に情報発信するなど、図書館の新たな可能性を展望しながら県内の図書館全体の先導的役割を果たします。

### 重点取組事項

#### ① 子ども図書室の取組の充実

- ・子ども図書室の各種資料の充実を図ります。
- ・おはなし会やイベント、展示等の工夫・充実を図り、子ども図書室の利用を促進します。

#### ② 学校図書館への支援の充実

- ・子ども文庫等の団体貸出の利用を促進します。
- ・学校図書館の運営や読書推進に関する情報の収集・提供の充実を図ります。

#### ③ 図書館職員等の研修の充実

- ・各種図書館等における読書活動の推進等に携わる人々の知識や技能の向上を図ります。
- ・当館指導主事と学校や県立教育センター等との連携による研修や講座の充実を図ります。